

# S・M・C

Shizuoka Medical Communication

## 市民公開講演会

### 『人生の物語を紡ぐ』—患者さんに寄り添って—

人生は物語だろうか？

一人一人違う人生を歩むという点では物語のようだ。

最期はどんな物語を？

死に逝く人の言葉は重く厳しい。

それを聴くことは辛い。

しかし死に逝く人の言葉に耳を傾けることは、

その人の最期の物語を共に紡ぐことになるのだろう。

それは自分の人生の物語のはじまりかもしれない・・・

平成26年1月25日（土）、たんぼぼ診療所院長・遠藤博之先生を講師に迎え、静岡市中央福祉センターにおいて市民公開講演会を開催いたしました。演題は『人生の物語を紡ぐ』—患者さんに寄り添って—。上記は遠藤先生が綴られた言葉ですが、先生はいつもこのような思いを胸に、患者さんに寄り添っていらっしやいます。人に対するやさしさにあふれ、スピリチュアルケア・悲しみのケアを追求して止まない先生が、日々患者さんやご家族からどのようなことを学んでおいでなのかをお話し下さいました。一つひとつのいのちの尊さが、ずっしりと重く、深く、伝わってきました。

遠藤先生の正直で誠実、常に感謝を忘れない謙虚なお人柄、そして真摯に患者さんとそのご家族に寄り添うお姿に、多くの方々が感銘を受けられたようです。

市民公開講演会には50名ほどの方が参加されまし

たが、近い将来、介護に関わる年代が多かったように思います。その内訳を職業別に見ますと、男性では医療関係者が多いなか、テーマに興味をもって参加したという自営業（60代）の方もいらっしやいました。女性では50代から70代の主婦の方がもっとも多く、医療関係の学生なのではないでしょうか、20代の方が参加して下さったのも印象的でした。



講演会を聴講された皆さんのご感想をいくつか紹介させていただきます。

- 重いテーマを分かりやすく講演してもらえて良かった。
- 寝たきりの姑を夫と介護している。看取りに不安を持っていたが元気をもらった。
- 老いていく不安や病気になった時の家族への負担等考えてしまう。在宅介護の問題は山積みかもしれない。
- 日本医療の将来について考えていた中で、講演会により様々な気付きがあった、自分の光も見つけられる気がした。
- 看護師としてどのような看護をしていくのか、何が出来るのか講演会が考えるきっかけとなった。(40代)
- 「光は闇の中で輝いている」という言葉が印象に残っている。講演内で出てきた本は読むようにしたい。
- 「悲しみ、弱さ、不幸せ＝人生の物語」「光は闇

の中で輝く」「悲しみの中に幸せを」などとても良い言葉を学んだ。

- 安らかな死を迎えられるように、生き方考え方を見直したい。(20代学生)
- 人生の最期について考えさせられることが多くあった。
- 大変参考になる話だった。今出来ること見えるものを大事に大切にしたいと思う。
- 心洗われる時間を過ごせた。良い先生を知ることが出来嬉しく思う。

最後に、私どもSMCに関するご意見を求めたところ、

- SMCは具体的にどのようなシステムなのか勉強する機会があったら嬉しく思う。
- SMCが何をやっているのかももっと宣伝してもよいのではないか？

といった大変心強いご意見を頂きました。今後の活動に活かせるよう努力して参ります。

(上藤)



※SMCとは・・・

静岡医療コミュニケーション研究会：Shizuoka Medical Communicationの略です。患者と医療者のコミュニケーション向上の支援を目的として、平成11年に発足した市民ボランティアグループです。

## 《 研修会風景 》

静岡てんかん・神経医療センターでは、平成21年から、全職種を対象とした医療コミュニケーション研修会を年1回開催しており、今年は5回目になります。

写真前方は、検査が予定通りにいかず、苦情を訴えにきた患者の付き添い（右：SP）に、研修者（左）が対応している場面です。



# 患者さんでも医療従事者でもない私が見たSMC

静岡県立大学国際関係学部4年 福井 薫

私がSMCの活動を見学させていただくことになったのは、大学の医務室で赤堀先生と出会い、私の研究テーマでもある医療について相談していたことがきっかけでした。医療というテーマについて相談をしているうちに、患者さんと医療従事者の方々のコミュニケーションがどんなふうに行われているのか、またそのコミュニケーションがどのようにフォローされているのかという点に関心を持ち、実際にコミュニケーション研修会に2回、SMC研修会に1回、見学という形で参加させていただきました。

そこでまず驚いたことは、SMCは多様性に溢れているということでした。現役の医療従事者、引退なさった方、そして異なる分野で活躍されている方もメンバーとして活動していらっしゃいました。そのように構成されたメンバーでコミュニケーション研修会を実のあるものにするべく、みなさんが年齢や属性にかかわらず和気藹々と意見を交換している光景を見て、医療従事者の視点や患者さんの視点のどちらかに偏ることなく研修が成り立っているのも、この多様性とみなさんの熱意や活力が下支えになっ

てこそではないかと強く感じました。見学者の1人であった私に対しても温かく接して下さり、毎回楽しく参加させていただきました。

患者さんと医療従事者の「コミュニケーションをよくしよう」という強い思いが、これほどまでにみなさんを突き動かしているのかと感動し、私も大きなパワーをいただきました。これからも、努力を惜しまないSMCを、陰ながら応援させていただきたいと思っています。



## 研修医OSCE大会打ち合わせに参加して

「第5回研修医OSCE大会」の打ち合わせが、平成25年1月26日（土）からの2日間、名古屋大学で開催されました。

OSCE大会の目的は、全国の2年次臨床研修医を対象に地域や組織の枠を越えたOSCEを行い、臨床能力の評価及びその後の研修において指標となるフィードバックを与えること、また、研修医・指導医間の交流を通じて、医師としての人格の涵養を図るとともに各地域の臨床研修又は医療の充実を図るというものです。

今までは、名古屋SP研究会とつくばSP会が参加していましたが、今回はつくばSP会に代わってSMCが参加することになりました。全く知らない人たちの中へSMC代表として参加することに緊張しましたが、皆さんが温かく受け入れてくださり、安堵しました。

私は、シナリオ検討にも参加させていただき、大変勉強になりました。その中で、名古屋SP会の魚津さんのセッションも見せていただきました。診察台に上る場面、横になって腹部の触診を受ける場面は初めてでした。以前に参加した病院でのマッチングテストの時に、血圧と脈拍の計測を受けるという体験はありましたが、今回のこの場面には驚きました。

アメリカではこのように患者に対してどのような接し方、触診をすれば、苦痛を与えることなく正しく診断できるかというところまでSPを使い、研究されていると聞いております。SPの需要に、未来はまだまだ広がりを見せていきそうです。（扇）

「第5回研修医OSCE大会」は、平成25年6月1日（土）～2日（日）にテルモメディカルプラネックス（神奈川県）で開催されました。静岡医療コミュニケーション研究会からは、6名のSPが参加しました。

※OSCEとは・・・

客観的臨床能力試験：Objective Structured Clinical Examinationの略です。OSCE（オスキー）は、日本の医学部、歯学部、薬学部6年制課程の学生が臨床実習に進むために合格しなくてはならない試験の一つです。

※SPとは・・・

模擬患者：Simulated Patientの略です。SP（エスピー）は、本物の患者と同様の演技ができるように訓練された人のことで、医療関係者の演習やトレーニングで研修者の相手をします。また、標準模擬患者：Standard Patientの意味もあり、試験や評価（OSCEなど）に用いられます。

# 平成25年度 SMCの活動

月 日	活 動 内 容
平成25年 4月 4日	新規採用者研修会へのSP派遣（静岡県立総合病院）
4月 7日	平成25年度 SMC総会（静岡市中央福祉センター）
4月26日	研修医研修会へのSP派遣（静岡県立総合病院）
6月 1・2日	第5回研修医OSCE大会へのSP派遣（神奈川県）
6月15日	CRC研修会へのSP派遣（ファルマバレーセンター主催）
9月 7日	静岡県立大学「CRC特論」への講師およびSP派遣
9月26日	研修会への講師およびSP派遣（静岡てんかん・神経医療センター）
10月11日	研修会への講師およびSP派遣（静岡市立清水病院 医師対象）
10月18日	研修会への講師およびSP派遣（社会保険桜ヶ丘総合病院）
10月27日	SMC研修会（アイセル21）
10月30日	研修会への講師およびSP派遣（静岡市立清水病院 看護師対象）
12月 7日	OSCEへのSP派遣（静岡県立大学薬学部）
平成26年 1月17日	浜松医科大学「医学概論」へのSP派遣
1月25日	SMC主催 医療講演会（静岡市中央福祉センター）
2月22日	OSCEへのSP派遣（浜松医科大学医学部）
3月21日	FMラジオ（FM-Hi!）に出演 「SMC活動紹介」
毎月 1回	SMC定例会開催（静岡市中央福祉センター）



【連絡先】 静岡医療コミュニケーション研究会 代表 森田 みつ子

〒420-0882 静岡市葵区安東 1-22-25 TEL・FAX 054-248-0348

H P <http://www.smc-jp.com/>